

## 令和2年度 学校教育自己診断集計結果

A：よくあてはまる  
 B：ややあてはまる  
 C：あまりあてはまらない  
 D：まったくあてはまらない

【生徒回答】（回答数 117名／対象数 130名）

	診断内容	A	B	C	D	無回答	A+B
1	学校に行くのが楽しい。	29.9%	30.8%	20.5%	18.8%	0.0%	60.7%
2	先生は生徒の意見を聞いてくれる。	39.3%	37.6%	13.7%	9.4%	0.0%	76.9%
3	授業は、わかりやすい。	27.4%	42.7%	19.7%	8.5%	1.7%	70.1%
4	教え方に工夫をしている先生が多い。	37.6%	35.0%	19.7%	7.7%	0.0%	72.6%
5	いじめについて私たちが困っていることがあれば、先生は真剣に対応してくれる。	42.7%	36.8%	12.0%	8.5%	0.0%	79.5%
6	担任の先生以外にも気軽に自分が気になることについて話ができる先生がいる。	44.4%	30.8%	15.4%	9.4%	0.0%	75.2%
7	学校生活について、先生の指導に納得できる。	33.3%	38.5%	19.7%	8.5%	0.0%	71.8%
8	授業や総合学習では、将来の進路や、生き方について考える機会がある。	39.3%	33.3%	17.1%	9.4%	0.9%	72.6%
9	校外学習は楽しくおこなえるように工夫されている。	36.8%	29.9%	20.5%	12.8%	0.0%	66.7%
10	スポーツ大会は楽しくおこなえるように工夫されている。	37.6%	26.5%	23.9%	12.0%	0.0%	64.1%
11	命の大切さや社会のルール、人権について学ぶ機会がある。	41.0%	36.8%	12.0%	9.4%	0.9%	77.8%

【保護者回答】（回答数 29家庭／対象数117家庭）

	診断内容	A	B	C	D	無回答	A+B
1	子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。	27.6%	37.9%	24.1%	10.3%	0.0%	65.5%
2	先生は子どものことを理解している。	24.1%	62.1%	13.8%	0.0%	0.0%	86.2%
3	子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。	17.2%	48.3%	24.1%	6.9%	3.4%	65.5%
4	(H27から)子どもの学習内容に満足している。(H26まで)学校の雰囲気がよく、生徒が生き生きしている。	17.2%	51.7%	27.6%	0.0%	3.4%	69.0%
5	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	24.1%	58.6%	13.8%	0.0%	3.4%	82.8%
6	気になる事柄について先生に相談しやすい。	34.5%	48.3%	17.2%	0.0%	0.0%	82.8%
7	学校の生徒指導の方針に共感できる。	24.1%	48.3%	20.7%	3.4%	3.4%	72.4%
8	学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。	27.6%	65.5%	6.9%	0.0%	0.0%	93.1%
9	学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。	27.6%	31.0%	13.8%	27.6%	0.0%	58.6%
10	学校は、教育情報について、提供の努力をしている。	37.9%	44.8%	13.8%	0.0%	3.4%	82.8%
11	学校は子どもに生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を育てようとしている。	34.5%	41.4%	20.7%	0.0%	3.4%	75.9%

【教職員回答】（回答数20人／対象数20人）

	診断内容	A	B	C	D	無回答	A+B
1	学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。	55.0%	45.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	40.0%	50.0%	10.0%	0.0%	0.0%	90.0%
3	年間の学習指導計画について、各教科で話し合っている。	45.0%	30.0%	25.0%	0.0%	0.0%	75.0%
4	本校では、到達度の低い生徒に対する学習指導について、全校的課題として取り組んでいる。	50.0%	30.0%	20.0%	0.0%	0.0%	80.0%
5	本校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
6	いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。	60.0%	35.0%	5.0%	0.0%	0.0%	95.0%
7	教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。	70.0%	25.0%	5.0%	0.0%	0.0%	95.0%
8	生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	70.0%	25.0%	5.0%	0.0%	0.0%	95.0%
9	学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	60.0%	35.0%	5.0%	0.0%	0.0%	95.0%
10	教育活動において、生徒が命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会をつくるよう配慮している。	55.0%	45.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
11	教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
12	学校運営に、教職員の意見が反映されている。	50.0%	45.0%	5.0%	0.0%	0.0%	95.0%
13	生徒の障がいや実態の多様化に対応した適切な教育活動をおこなっている。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
14	学校（担任）は保護者と密接な連携がとれている。	65.0%	35.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
15	学校は授業力向上のための校内公開授業等を積極的に推進し、また教員相互の授業を検討する機会を持ち、教材や指導方法など授業改善に取り組んでいる。	45.0%	55.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
16	コンピュータ等のICT機器が、各教科の授業などで活用されている。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
17	学校は体罰やセクシャルハラスメントの防止をはじめ、個人情報管理などすべての教育活動において人権尊重に基づいた指導が行われている。	55.0%	40.0%	0.0%	0.0%	5.0%	95.0%
18	学校（教員）は組織として「報告・連絡・相談」が徹底されている。	60.0%	30.0%	5.0%	5.0%	0.0%	90.0%
19	教員間の相互信頼があり、意見を率直に言える環境、雰囲気である。	60.0%	25.0%	10.0%	5.0%	0.0%	85.0%

## R02 分析・検討事項

回答の(A+B)を肯定的回答とし、その割合を経年変化・学年比較を中心に分析・検討を行った。

### 【生徒】

昨年と比べた場合、2, 4, 5, 7, 8, 11の項目は、大幅な変化が見受けられない。また、3, 6の項目で5ポイント以上上昇している。それに対して、1, 9, 10の項目で5ポイント以上低下している。

1, 2, 6, 8は1年次と3年次が低く、2年次と4年次が高い。また、10は2年次と3年次が低く、1年次と4年次が高い。それ以外の項目は、3年次が低く、4年次は高い傾向がある。

「授業はわかりやすい。」という項目や、「担任の先生以外にも気軽に自分が気になることについて話ができる先生がいる。」という項目では昨年度より肯定率が上昇している。授業改善の取り組みや教育相談体制の充実に成果が表れてきたと推察できる。

「学校に行くのが楽しい。」という項目が大幅に低下している。その理由については、今年度は新型コロナウイルスの影響により4月と5月の2か月間の臨時休業があったことや、そのしわ寄せとして学校行事の中止や内容変更があったことが大きいと思われる。生徒側の要因としては心理面や発達面で様々な課題を抱える生徒が増えていることも要因として考えられる。また、「校外学習は楽しく行えるよう工夫されている。」という項目、及び「スポーツ大会は楽しく行えるよう工夫されている。」という項目については、昨年度「文化祭は楽しく行えるよう工夫されている。」及び「体育祭は楽しく行えるよう工夫されている。」という質問項目であったものを、学校行事の変更に伴って質問内容を変更したために肯定率が低下した。文化祭については次年度以降は復活させる予定である。また、体育祭からスポーツ大会への変更は次年度も引き継ぐ予定であるが、スポーツ大会や校外学習の在り方についても今後検討を進めていきたい。

### 【保護者】

昨年と比べた場合、1, 5, 6, 8の項目は、大幅な変化が見受けられない。また、3, 9の項目で8ポイント以上上昇している。それに対して、2, 4, 7, 10, 11の項目で8ポイント以上低下している。

「子どもは授業がわかりやすいと言っている。」と答えた割合が昨年度より大幅に上昇したのは生徒アンケートと共通しており、授業改善の取り組みがこちらについても実を結びつつある結果ではないかと考えられる。また、新型コロナウイルスの影響により保護者が参加できる行事が減ったにもかかわらず、「学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。」と回答した保護者の割合が増加したことも大変ありがたいことである。

「先生は子どものことを理解している。」、「子どもの学習内容に満足している。」、「学校の生徒指導の方針に共感できる。」、「学校は、教育情報について、提供の努力をしている。」、「学校は、子どもに生命を大切にしている心や社会ルールを守る態度を育てようとしている。」と答えた保護者の割合が昨年度より低下していることについては、教職員全体でアンケート結果を虚心坦懐に受け止めて、保護者の信頼を回復するため、日々の教育活動を更に見直していく必要があると考えられる。

## 【教職員】

昨年と比べた場合、2, 3, 6, 8, 9, 11, 14~17の項目は、大幅な変化が見受けられない。また、1, 5, 10, 12, 13, 18, 19の項目で5ポイント以上上昇している。それに対して、4, 7の項目で5ポイント以上低下している。

学習指導については、「年間の学習指導計画について、各教科で話し合っている。」という項目が昨年度より1.2ポイントの微減ではあるが、過去8年間で最低となっている。次年度入学生から実施される新教育課程に向けて、カリキュラムマネジメントの視点から教科の垣根を超えた学習指導計画のさらなる見直しを図っていくことが必要であると考えられる。また、「本校では、到達度の低い生徒に対する学習指導について、全校的課題として取り組んでいる。」という項目が昨年度より10.5ポイント低下している。個別の学習支援の方法についての教職員研修の充実や、先進的に取り組んでいる他校の実践例などの情報収集の推進などの対策を行うことが必要である。これに対し、「校内公開授業等を積極的に推進し、教員相互の授業検討の機会を持ち、教材や指導方法など授業改善に取り組んでいる。」という項目や、「コンピュータ等のICT機器が、各教科の授業などで活用されている。」という項目については、昨年度に引き続き教職員の評価は高い。

「教育相談体制が整備されており生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。」という項目についても肯定率が昨年度は100%に戻ったが、今年度は再び100%を切った。様々な課題を抱える生徒の割合が増加する中、学校として生徒一人ひとりの実態に即してできるだけきめ細かい個別対応を行ってきたが、限られた人的資源の中で、思った通りの対応ができていないということを反映しているものと考えられる。このような課題を解決するために、人的資源を増やすための働きかけを推進していくことが必要である。一方、「本校では、カウンセリングマインドに基づいた生徒指導を行っている。」という項目や、「教育活動において、命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会を作るように配慮している。」という項目、「生徒の障がいや実態の多様化に対応した適切な教育活動をおこなっている。」という項目については、今年度は肯定率100%に上昇しており、「いじめが起こった際の対応が整っており迅速に対応できる。」という項目についても、昨年度より肯定率が上昇している。

教職員の組織については、「学校（教員）は組織として『報告・連絡・相談』が徹底されている。」という項目と、「教員間の相互信頼があり意見を率直に言える環境、雰囲気である。」という項目について、昨年度は大幅に低下したが、今年度は大幅に上昇している。また、「学校運営に教職員の意見が反映されている。」という項目や、「学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。」という項目についても、昨年度より上昇しており、改善傾向が見られる。

## 【全体を通して】

生徒アンケートについては、上述した通り、「学校に行くのが楽しい。」という項目が例年になく低い評価となっており、とりわけ1年次と3年次で低くなっていることが大きな課題である。1年次については、入学してからの期間が短いことから、教員や生徒同士の人間関係がスムーズに構築できるように、生徒への声かけをより積極的に行うとともに、教育相談体制をより一層充実させるなどの対策が必要である。また、生徒が学校生活を楽しいものと思えるように、感染症予防を徹底しつつ学校行事をより充実したものにしていこうという、両立することが難しい課題に取り組むとともに、授業改善にもより一層取り組む必要がある。

保護者アンケートについては、上述した通りいくつかの質問項目については昨年度に比べて向上していたが、昨年度に比べて厳しい評価を頂いた項目が多かった。評価結果から浮かび上がった課題やアンケートに記載していただいた様々な提言内容を踏まえて、次年度以降の学校経営の改善に努めていきたい。

教職員アンケートについては、学習指導に関する項目と教育相談体制に関する項目以外はおおむね改善傾向にある。特に教職員間の信頼関係や連絡体制に関する項目は大幅に改善している。今後、学習指導の体制の組織化に向けた様々な取り組みを進めることにより、教職員の組織力のさらなる向上に取り組んでいきたい。